



三条総局
〒955-0092
三条市須頃 2-89
0256(33)0408
FAX(33)3347

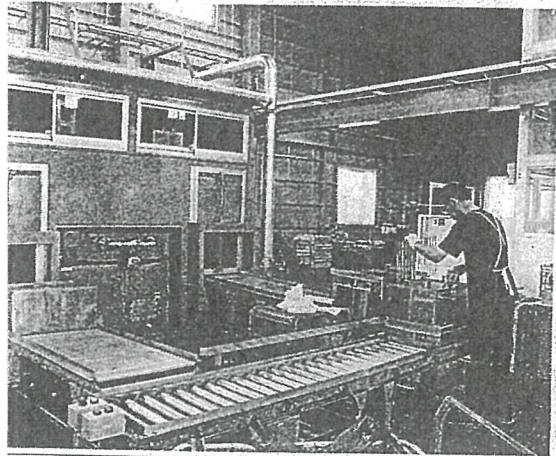
会議資料
No. 3

三 条	6時	9	12	15	18	21	24	最高	25	最低	22
弥 彦	6時	9	12	15	18	21	24	最高	25	最低	22
加 茂	6時	9	12	15	18	21	24	最高	25	最低	22
燕	6時	9	12	15	18	21	24	最高	25	最低	22

※ 兼外線情報 三条 暑い

排出抑制進むか 金属産地

燕・トリクロロエチレン問題



「燕市の都市イメージに関わる話だ。業界、行政を挙げて取り組んでいく」
燕市議会6月定例会の一般質問。鈴木力市長は、トリクロロエチレンの排出抑制に向けた市の姿勢を問われ、こう答弁した。

燕市にある県の調査地点では、以前からトリクロロエチレンの空气中濃度が全国の中でも特に高かった。県は現状を詳しく把握するため、2019年度に市内の調査地点を燕測定局(白山町のほかに5地点:燕、殿島、秋葉町、蔵岡、杣木)

増やし、調査した。年間平均値は1立方メートルあたり12.100ppmで、全地点で基準値の同130ppmを下回った。ただ、17年度の全国平均(同0.42ppm)に比べて大幅に高い数値を記録した。

コスト増 事業者に懸念

燕市で、発がん性物質のトリクロロエチレンの排出抑制対策が本格化しようとしている。市内では主に金属製品の洗浄に使われ、産業集積地だけに大気中濃度の高さが全国トップクラスだ。県は事業者に自主的な削減を求めており、燕市は改善につながる装置の設置費用などの助成金を本年度予算に盛り込んだ。一方で、県も市も全ての取扱事業者を把握できておらず、どこまで自主的な取り組みが促せるかが課題となる。(三条総局・片野透)

市は設備改善へ助成金

燕市でトリクロロエチレンの空气中濃度が高いのは、金属加工を得意とする地場産業と大きく関係する。トリクロロエチレンは、ステンレスに残った研磨剤や油分の除去に使われており、市内には金属洗浄の専門業者もある。使用する施設の設置者は県への届け出が必要で、市内は97事業者ある。しかし、実際に使用する事業者はそれ以上にあるとみられる。

News コンパス

県が大気中濃度の測定を始める
環境省が県央地域の大気中濃度の測定を含めた態調査を開始(19年3月まで)
副都府がん研究機関が発がん性分類をグループ2(おそらく発がん性がある)からグループ1(発がん性がある)に見直す
県が有識者による排出抑制検討会を設置
大気環境基準が年平均1立方メートルあたり200ppmから、同130ppmに引き下げられる
県が燕市の大気中濃度の観測地点を6カ所に増やす
県警が、工場前の側溝に流した燕市の業者と経営者を廃棄物処理法違反(不法投棄)の疑いで逮捕
県の検討会が報告書をまとめ、県が自主的取り組みのガイドラインを作成
市が事業者に設備改善等の補助制度を開始
市が排出抑制検討会を設置

金属洗浄にはトリクロロエチレンのほかにも、環境に優しい炭化水素系の洗浄剤が使われる場合もある。しかし、それでも市内でトリクロロエチレンが好まれ

トリクロロエチレン 金属製品の洗浄などに使用される有機塩素系溶剤。国内では1980年に製造が始まり、高度経済成長に伴って生産が拡大した。常温で無色透明の液体。揮発性があり、甘い香りを持つ。1kg当たり2000〜3000ppmと、発がん性があるとされる。使用する施設の設置者は県への届け出が必要。県や新潟市は県内の大気中濃度を測定している。2020年度の燕市の観測地点は4カ所(白山町、燕蔵岡、殿島)ある。

排出抑制策をまとめた。企業は現状をどのように受け止めているのか。燕市蔵岡の工業洗浄業「本間産業」は、以前から排出抑制に力を入れている。炭化水素系の洗浄装置や、密閉度が特に高い装置などを導入している。8月には排出方への回収装置を増設する予定だが、環境対策に力を入れないのが現状で、どれほど排出の抑制を促せるかはまだ見通せない。

首都圏学生の就活支援

三上市 東京で地元企業説明会

新型 コロナウイルスの影響で県をまたいだ就職活動が困難な首都圏の学生らに、地元企業の魅力を伝えるようと、三上市は4日、東京・表参道の新潟県エスパスで就職説明会を開いた。市役所のほか三上市内のものづくり企業3社が参加し、熱心に自社製品や理念などをPRした。



番販目なのはトリクロロエチレンの使用が禁止となり、ものづくりができなくなることだ。共存していくために各事業者は法令を守り、排出抑制に取り組むべきだ」と語る。

こうした中、燕市は本年度、排出削減につながる補助金を導入した。設備の新設は費用の半額まで最大250万円を助成する。また官民の関係者による排出抑制に向けた検討会も5月に新設した。

ただ、市内には小規模の事業者も多く、補助金があっても設備投資の負担は大きい。県も市も使用する全ての事業者を把握できていないのが現状で、どれほど排出の抑制を促せるかはまだ見通せない。

ヒノキ9本 無断伐採!?



切り口鮮やか、プロの弥彦村の弥彦公園のヒノキに切られたとして、村に被害届の提出を検討し、伐採が実はシルバーター1の会員による公園整備だったことが分かった。

村は3日、村議を通じたヒノキが切られたという掘。すぐに現地調査を行った。切口がきれいで周囲に伐採された跡もなかった。切り口がきれいで周囲に伐採された跡もなかった。切り口がきれいで周囲に伐採された跡もなかった。

実は立ち枯れの間引き

神社と維持管理契約を結んだ村は、すぐに弥彦交差点に被害届などを詳しく見積もって、6日にも西浦署に被害届を出す予定だった。

しかし、地域紙の報道がルバー人材センターの担当日朝に村役場に連絡し、事なきと判明。ヒノキの伐採枯れた木を間引くためのつたという。

村によると、伐採がたまた方に固まっていたため無を疑ったという。村役場のは「盗難でなくよかつたずかしい」としている。

写真11断面がきれいに切られ公園内のヒノキ。事件性はなし 弥彦村弥彦